

【教育目標 夢中になる とともに創る】



# きらきら



新潟市立沼垂幼稚園  
園だより  
令和6年4月12日発行

## 創立 110 周年のはじまりです

園長 青木博子

春の暖かさに誘われて、園庭の桜が今年も咲き誇っています。そして、満開の桜が咲く私たちの沼垂幼稚園に、子どもたちのうれしそうな歓声と笑顔が、また帰ってきてくれました。今年度は、年少組7名・年中組14名・年長組10名・全園児31名、職員14名でスタートしました。いよいよ沼垂幼稚園110年目の新たな年が始まりました。

昨年度から、当園の教育目標を「夢中になる とともに創る」としました。夢中になって遊ぶからこそ、ものや人との関わりが豊かになります。そのことが、小学校以降の学びを主体的で豊かなものにするのです。人は、人と関わり合いながら互いを尊重して生きていきます。夢中になって友達と創り上げていくことこそ、今の変化の激しい時代を生き抜く大切な力を育みます。これまでも当園では、子どもが安心して自ら遊びに向かい、友達とやり抜き、満足感をもって次の遊びへと向かう姿を大切にしてきました。さらに夢中になって取り組み、友達と共に力を合わせて創り続ける子どもたちを、今年度も育てていきます。

さらに、今年度は、新しく次の二つのことにも取り組みます。

一つ目は、地域の皆様とつながるコミュニティ・スクールが、当園でも始まります。運営委員の皆様と共に、当園の保育の在り方を考え、より良いものにしていく取組です。私としては、この歴史ある沼垂地域の人・自然・もの・ことと当園の保育を、さらに、どのように結びつけていけるのかを考える契機にしていきたいと思っています。

二つ目は、昨年度から始まった「満3歳児保育」と今年度途中から始まる「預かり保育」をより良いものにしていくことです。この二つの保育が、園全体の保育をさらに充実したものへと導いてくれることを期待しています。

時代が大きく変わる中で、私たちの沼垂幼稚園も毎年変わっていきます。これまで築いてきた当園の伝統を大切にしながら、新たな変化によって生じるエネルギーをさらに良い保育を創る推進力に変えていきたいと考えています。

私たちは、今年度も子ども一人一人の成長を大切に見守っていきます。そして、保護者の皆様、地域の皆様と一緒に歩んでいきます。そのことを通して、子どもたちの今だけでなく、未来のしあわせを、全職員で創っていきます。

子どもたちのかけがえのない一年を大切にします。職員一同全力で、そして笑顔で取り組んでいきます。

どうぞ今年度もよろしく願いいたします。